

事務事業名		スポーツ施設維持整備事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	くらしと文化部
総合 計画 体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	文化スポーツ振興課
	政策	04	スポーツの振興	係	施設管理係
	施策	01	スポーツ・レクリエーションの振興	内線電話	395
予算 体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	2款	総務費	計上	
	項	1項	総務管理費	実施期間	
	目	17目	スポーツ振興費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民、体育施設利用者	意図（どのような状態にしたいのか）	施設の環境改善を行うことで、施設利用者の利便性の向上を図る。
	現状・課題	施設の老朽化に伴い、改修の費用が増加している。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	スポーツ振興法、中野市体育施設条例、中野市B&G海洋センター		
事務事業概要	老朽化等により、改修が必要な施設の整備を行う。			
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量	
	コミュニティスポーツセンターエレベーター改修工事（11,000千円）		一式	
	市民体育館放送設備改修工事（2,300千円）		一式	
	市民体育館更衣室シャワー改修工事（1,000千円）		一式	
	市民体育館役員室エアコン設置工事（2,100千円）		一式	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	予算額	当初予算		円	106,320,000	105,800,000	19,700,000
補正・流用等		円			—		
合計		円	106,320,000	105,800,000	19,700,000		
決算（見込）額 A			円	98,061,584	105,800,000	—	
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金		円			
		県支出金		円			
		市債		円	55,500,000	76,000,000	15,500,000
		その他特定財源		円	24,000,000	21,500,000	0
	一般財源		円	18,561,584	8,300,000	4,200,000	
正規職員数		人	0.74	0.74	0.73		
人件費 B		円	4,761,160	4,767,080	4,702,660		
総事業費 A+B		円	102,822,744	110,567,080	24,402,660		
市民1人当たりコスト		円	2,404	2,599	576		

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
施設整備件数		維持	目標	13	4	4	4	
			成果	13	4	—		
			目標					
			成果			—		
成果指標と目標値を設定した理由	施設利用者の利便性の向上を図るため。							

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	施設の必要な改修工事を実施することにより施設利用者の利便性の向上を図る。						

